



# 原子力産業新聞

2012年4月12日  
 平成24年(第2618号)  
 毎週木曜日発行  
 購読料1年分前金(消費税、国内送料込)  
 会 員 9,500円(1部220円)  
 非会 員 15,000円(1部350円)  
 (当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 大飯判断基準に「概ね適合」

### 四大臣会合で議論進む 今夏需給見通しも含め判断

原子力発電所に関する四大臣による会合の第四回目が九日、首相官邸で開かれ、前六日の会合で取りまとめた再起動に当たっての判断基準に対し、関西電力が政府に提出した大飯3、4号機の安全性・信頼性向上のための実施計画について検討を行い、「判断基準に照らして概ね適合」していることを確認した。会合では、資源エネルギー庁より、原子力発電所を稼働しない場合の関西電力管内における今夏電力需給の見通しについて説明を受け、今後、稼働の必要性も含め、さらに議論することとしている。

藤村修官房長官は、九日「需給については、四月「整理する」とした上で、日の記者会見で、夏の電力需給の終わり頃にはキチッと」「再稼働は単に電力需給」ということだけでなく、日本経済や国民生活にどういった影響があるか、四大臣会合で総合的に判断する」として、慎重に検討していく姿勢を示した。

四大臣会合が六日に取りまとめた原子力発電所再起動に当たっての安全性に関する判断基準では、政府・事故調査委員会や原子力安全・保安院の専門家意見聴取会によるこれまでの調査・検証の結果を踏まえ、福島

給ということだけでなく、日本経済や国民生活にどういった影響があるか、四大臣会合で総合的に判断する」として、慎重に検討していく姿勢を示した。

四大臣会合が六日に取りまとめた原子力発電所再起動に当たっての安全性に関する判断基準では、政府・事故調査委員会や原子力安全・保安院の専門家意見聴取会によるこれまでの調査・検証の結果を踏まえ、福島

事故の原因および事象の進展に関する「基本的な理解を示しており、「安全上重要な設備・機器が津波や浸水という共通の要因により同時に機能喪失したところに大きな問題があった」と分析し、一方で、地震の影響については、「安全上重要な設備・機器が安全機能を保持できる状態にあった」と推定している。

判断基準は、基準一「全電源を喪失しても事態の悪化を防ぐ安全対策の実施」、基準二「福島事故並みに想定値を超えた地震・津波に襲われても燃料損傷に至らないこと」の確認、基準三「事業者

によるさらなる安全向上策の期限付き実施計画、新規制への迅速な対応、自主的な安全確保の姿勢」の三つに大別されており、保安院の意見聴取会が二月にまとめた福島事故の技術的知見から得られた三十の対策に呼応するものとなっている。

関西電力が提出した大飯3、4号機における安全性・信頼性向上対策の実施計画によると、判断基準一、二については、福島事故を踏まえ、国により指示を受けた緊急安全対策、ストレステストの一次評価として、それぞれ実施、確認が済んでいるとしており、その上

## キャメロン首相 新規建設を重視 日英原子力サミットが開催

両国の原産協会、協力覚書を締結



サミットには英国から、同首相のほかJ・ペディントン政府首席科学顧問、J・クラーク英国原子力廃止措置機構総裁ら七名、日本側は枝野幸男経産相と細野豪志原産担当相、産業界から服部拓也原産協会理事長が参加して、講演などを行った。

キャメロン首相(11号真)は挨拶の中で、協力の歴史が長い日英両国が除染や廃炉でも協力する余地が多くあると述べる

枝野経産相は廃炉に向けた取り組みに対する英国からの協力の申し出を心強いと歓迎した。新たなエネルギー政策の策定を目指すのが国の役割

英国のD・キャメロン首相来日にあわせ、日英両国の原子力関係者が参加して「日英原子力サミット」が十日、東京の英国大使館で開催された。同首相はこれまでの両国原子力協力の成功を評価し、廃炉等今後の連携の可能性を示した。



### この一週間の出来事

(5日(木)～11日(水))

- ・細野環境相が橋本町議会で中間貯蔵説明(7日)
- ・黒川国会事故調委員長が福島第二視察(10日)
- ・大阪府市エネ戦略会議が再稼働に条件(10日)

### 原産新聞の紙面から

#### ◇国内ニュース

- ・2012年度予算で原子力関係経費10%減(2面)
- ・双葉地方町村会が首相に緊急要望書提出(2面)
- ・モデル実証事業で土壌等80%以上の効果(2面)
- ・幌延深地層センターでの最前線研究報告(4面)

#### ◇海外ニュース

- ・ブルガリア、ベレネの2基建設を断念(3面)
- ・中国の秦山二期工事4号機が営業運転(3面)
- ・トルコが中国と原子力協力協定締結(3面)

所建設を計画する英国に国に対して「わが国の技術や経験は貢献できると確信している」とし、原子力を取り巻く課題解決にむけ、両国の強みを生かして「ウィン・ウィン」の関係性を深めたいと強調した。

上で、両国原子力産業界の対話情報交換、コミュニケーション強化の重要性を確認。両協会は相互に賛助会員としての地位を定め、安全で平和的な原子力の利用を進めるため、両国産業界の間での協力活動を支援していくことと合意した。

英国の原子力産業界を代表する英国原子力産業界のJ・ハットン会長(11写真左)と、日本側の原産協会理事長(11写真右)が覚書に署名した。覚書の中で、双方の原産協会は世界と両国の持続的発展に向けた原子力の重要性を示した。

これら安全性・信頼性向上計画と合わせて、四大臣会合に示された関西電力管内の夏季需給見通しによると、原子力発電所が稼働しない場合、一年並みの需要・節電で七・六%、一〇年並の猛暑となると一九・六%、それぞれ電力不足が見込まれるとしている。

**TNSは  
エネルギーエンジニアリングの  
あらゆるステージで  
あなたをサポートします。**

TNSは原子力・アイソトープに関する高度な知識と技術を駆使し、設計から施設の廃止にいたるまでのあらゆる段階でサポート業務を展開するとともに、先端技術分野における研究・開発においても質の高いサポートを提供いたします。

**TNS 東京エネルギー株式会社**

<b>安全設計・評価</b>	<b>研究及び技術開発サポート</b>	<b>工事</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設計</li> <li>遮蔽設計</li> <li>安全評価</li> <li>RI施設の申請業務代行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究サポート</li> <li>技術開発サポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の保守・点検</li> <li>施設の解体工事</li> <li>施設の改造工事</li> </ul>
<b>施設の管理・運営</b>	<b>受託試験研究</b>	<b>機器販売</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模施設の運用・管理</li> <li>放射線管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境物質の分析</li> <li>環境物質の挙動解析</li> <li>トレーサー試験</li> <li>解体廃棄物の管理特性試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線管理区域の空調機器の販売</li> <li>放射線管理区域用機器の製造・販売</li> </ul>

東京本社：東京都台東区台東1-3-5(反町ビル7F) 〒110-0016 TEL.03(3831)7957  
 東海営業所：茨城県那珂郡東海村村松字平原3129-31 〒319-1112 TEL.029(282)3114  
 つば開センター：茨城県つくば市緑ヶ原4-19-2 〒300-2646 TEL.029(847)5521  
 大阪事務所：大阪市中央区内本町1-2-5(YSKビル5F) 〒540-0026 TEL.06(4792)3111  
 六ヶ所事業所：青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字野附1-4 〒039-3212 TEL.0175(71)0710